

<「事業計画書」記入上のポイント・注意点>

様式第1号（第7条関係に添付）

高砂市民提案型地域協働推進事業「夢の代」

事業計画書

【団体名： _____】

事業名	〇〇〇〇〇〇事業
------------	----------

事業の目的 (審査項目：①)	『審査項目①：公益性』 ・地域の課題解決など、還元される内容であるか ・住民の共感が得られ、住民参加型であるか →地域ニーズや地域課題を踏まえ、その解決策などを具体的に記載してください	
事業の独創性 (審査項目：②)	『審査項目②：独創性』 ・団体や地域の特性を活かした内容であるか ・協働事業としての先進性、モデル性があるか →提案団体や地域の特性の活かし方とモデル化できる根拠等を記載してください	
事業内容 (活動内容とスケジュール) (審査項目：①、④)	時期	内容（活動場所、活動費、対象者、人数など）
	<例> 4月上旬 6月 8月～3月	→活動名、時期、場所、対象者、活動費、実施体制、事業のPR方法などを記載してください →活動名には、会議、イベント、ワークショップ、調査など予定している活動および内容を記載してください 年間スケジュールや活動内容などを協議する〇〇（活動名）ミーティングを実施 チラシの作成および配布 〇〇センター（活動場所）において、月〇回（開催頻度）、〇〇（事業内容）を実施（対象者は〇〇）。参加者は〇〇で募集。

		※特に、事業によって成果物が発生する事業については、完成したものが事業の中でどのように活かされるのか、内容や数量とともに記載してください。（配付対象者や有償・無償についても記載してください。）
協働の有効性 （審査項目：③）	『審査項目③：協働の有効性』 ・協働事業による効果的なサービスに期待できるか ・協働相手との役割分担が明確で相乗効果にも期待できるか →協働団体がある場合の協働団体の役割及び市の関係部署（担当課）に希望することを記載してください	
事業目標・成果 （審査項目：④）	『審査項目④：実現性・実効性』 ・事業目的や計画が明確で実現性の高い事業規模であるか ・具体的な効果や成果が期待できる組織力と熱意があるか →提案事業の実施による効果と得られる成果について、数値目標などで記載してください	
事業の発展性等 （審査項目：⑤）	定着させる手法、 継続の見通し等	『審査項目⑤：発展性・継続性』 ・事業定着と発展性、継続性が期待できるか ・地域活動の活性化と自治力の向上が見込まれるか →1年目の活動を経て、2年目以降にどのように事業を定着し、活動を拡充していきたいのか、などを記載してください
	期待される 新たな市民活動	→今後新たな展開として、どのような企画を想定されているのかを記載してください
その他 （提案団体のアピール等）		

※記述欄が不足する場合は、拡張又は別紙にて記述してください。

ただし、事業計画書は別紙記載分も含め5ページ以内に収めてください。